

公益財団法人 沖縄協会 2022年度 沖縄青少年勉学支援生 募集案内

卒業生対象
給付型

1. 沖縄青少年勉学支援金給付制度について

本土各地の職場で働きながら学ぶ沖縄青少年を支援するため、沖縄協会では昭和48年に沖縄青少年勉学支援金給付制度を設けました。この制度に賛同いただいた沖縄出身者を含め多くの方々からの温かい寄附金でつくられた「働きながら学ぶ沖縄青少年支援基金」の果実で勉学支援金を支給しています。

2. 対象者：本土において働きながら学ぶ沖縄県出身者で、いずれにも該当する者

- (1) 25歳以下の者
- (2) 大学(短期大学、大学院を含む)、専修学校および各種学校、通信教育を行う教育施設等に在学している者
- (3) 勤労収入により生計を維持している者
- (4) 保護者が沖縄県内に居住している者

3. 採用予定数および奨学金の内容

- (1) 採用予定数：財団の財務状況に応じ、各年度ごとに決定(前年度は6名程度)
- (2) 給付額：年額6万円(月額5,000円)
- (3) 給付期間：当該年度の4月から就学課程修了時まで
- (4) 給付方法：4月から9月までの6カ月分(前期分)と、10月から3月までの6カ月分(後期分)の2回に分けて勉学支援生の銀行口座に振り込む。

4. 応募書類

- (1) 勉学支援申請書
- (2) 在学証明書
- (3) 在職証明書

5. その他

- (1) 進級時には、所定の「進級報告書」に新学年の在学証明書および在職証明書を添付し、4月30日までに協会に提出すること。提出のない場合は支援を中止する。
- (2) 卒業時には、所定の「卒業報告書」および卒業証明書を協会に提出すること。

6. 応募期間：4月1日(金)~6月30日(木) (各自で協会へ提出)

※ 募集要項等は進路室にもあります。また、沖縄協会 HP からダウンロード可

◆ 公益財団法人 沖縄協会

<http://www.okinawakyoukai.jp/publics/index/50/>

令和4年度 うるま市育英会貸費生 募集案内 (学資金)

卒業生対象
貸与型

1. 対象者：令和4年度中に大学等への入学を予定する者で、以下の条件を満たすこと

- (1) 本人または保護者がうるま市に住所を1年以上有する者
- (2) 大学(短期大学含む)、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程のみとし、修業年限2年以上に限る)並びに大学校、海外大学(短期大学含む)に在学する者
※ 高等学校は、本市島嶼地域出身の高校生に限り対象(保護者の現住所が島嶼地域)
- (3) 学業・操行とも優秀で、かつ※経済的理由により就学が困難と認められる者
※ 日本学生支援機構が実施する第二種学資金の対象となる者と同程度
- (4) 貸費した奨学金の償還義務を確実に履行できる者

2. 奨学金の内容

- (1) 採用人員：若干名
- (2) 貸費額：① 県外大学等・専修学校 … 月額5万円
② 県内大学等・専修学校 … 月額3万円
③ 海外大学等 … 月額4万円・5万円・6万円から選択
④ 高等専門学校は募集要項を確認してください

3. 出願に必要な書類

- (1) 貸費申請書(第1号様式)
- (2) 推薦書(第2号様式) ※新1年次は出身校、2年次以上は在学学校発行で未開封のもの
- (3) 成績証明書(令和4年4月1日以降に発行されたもの；発行元は推薦書同様)
- (4) 在学証明書(令和4年4月1日以降に発行されたもの；海外大学等は日本語訳を添付)
- (5) 住民票謄本(申請書に記載した世帯員全員が記載されているもの)
※ 本籍、続柄の記載が必要。令和4年4月1日以降に発行されたものを提出
※ 別住所の方がいる場合は、その方の住民票も添付。
- (6) 令和3年度分 所得課税証明書(申請書に記載した18歳以上の世帯全員分)
※ 就学者は除くが、18歳未満でも所得がある場合は提出
- (7) 94円切手 1枚(採否通知用)
※ その他、家族の状況により提出が必要な書類があります。
※ 推薦書等の作成には時間がかかります。時間に余裕をもって依頼してください。

4. 応募期間：4月1日(金)～4月28日(木) (各自で育英会へ提出)

※ 募集要項等は進路室にもあります。また、うるま市育英会 HP からダウンロード可
<https://www.city.uruma.lg.jp/culture/145/1134/11892>